

日本図書館情報学会会報

No. 140

2011年2月

日本図書館情報学会事務局

〒305-8550 茨城県つくば市春日 1-2

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 内

E-mail: jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

学会ホームページ: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/>

ゆうちょ銀行 口座番号 00160-5-0045759 (口座名義=日本図書館情報学会)

ゆうちょ銀行 019 店 口座番号 当座 0045759 (口座名義=日本図書館情報学会)

会員各位

日本図書館情報学会会長

根本 彰

2011年の春季研究集会を下記の要領で開催します。研究発表申込の受付を開始しますので、〈発表募集要領〉および〈研究大会・春季研究集会における発表のルールについて〉をよくお読みの上、ふるってご応募ください。春季研究集会の円滑な運営のため、募集要領、発表ルールの遵守を重ねてお願いいたします。

研究集会プログラムの発表と参加申込の受付は、4月刊行予定の会報で行います。春季研究集会関係の情報は、学会のホームページでも随時提供します。

会員多数のご参加をお待ちしております。

記

日 時：2011年5月14日(土) 10:00～18:00

(開始・終了時刻は変更される場合があります)

場 所：東京学芸大学 小金井キャンパス

<http://www.u-gakugei.ac.jp/10sougou/01general/z03.html>

住 所：〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

最寄り駅 JR 武蔵小金井駅・北口より 京王バス〔5番バス停〕【小平団地行】約10分

学芸大正門・下車 徒歩約5分、徒歩の場合は約20分

JR 国分寺駅より徒歩約18分

参加費：正会員 2,000 円、学生会員 1,000 円、非会員 3,000 円 (予定)

<発表募集要領>

応募資格：日本図書館情報学会の正会員および学生会員（共同発表の場合、筆頭発表者が正会員または学生会員であること）

発表時間：1件30分（発表時間20分、質疑応答10分）

発表の言語：日本語もしくは英語であること。どちらの言語の場合も、申込、要綱、発表、記録まで同一言語とすることを条件とします。英語での発表も受け付けますが、多くの聴衆が日本語での発表を期待している現状に鑑み、基本的には日本語での発表が望ましいと考えます。

申込方法：「2011年春季研究集会研究発表申込書」【(Word版) / (Text版)】に必要事項を記入の上、下記研究委員会春季研究集会担当宛に電子メールか郵便でお送りください。なお、受理された申込書はWeb上で公開する予定です。あらかじめご承知おきください。

申込締切：2011年3月5日(土)(午後6時 必着)

3月9日(水)までに申込みを受け付けた旨のメールを差し上げます(受理の連絡はまた別途行います)。申し込んだにもかかわらずメールがない場合、トラブルの可能性があるので、3月11日(金)の正午までにご連絡ください。この時までにご連絡がなかった場合は、申込はなかったものとして処理させていただきます。

発表要旨の提出：発表することが決まった場合には、A4判で4枚の発表要綱を作成し、2011年4月16日(土)までに原稿を東京学芸大学春季研究集会事務局宛に送っていただきます。要綱の作成方法、郵送方法などに関しては、発表申込受理者にご連絡いたします。その際、要綱提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。

発表のための機材：パソコンによるディスプレイ(PowerPoint)装置が使用可能です。その他の機材をご要望の場合には、研究委員長の岸田までお問い合わせください。

<日本図書館情報学会研究委員会 春季研究集会担当/研究委員長>

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 慶應義塾大学文学部 岸田和明 気付
FAX: 03-5427-1578 E-mail: jslis-kenkyu@ml.keio.jp

<研究大会・春季研究集会における発表のルールについて>

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認の上、発表申込をしてください。

- (1) 個人会員(正会員・学生会員)は研究大会および春季研究集会において同様に発表の権利をもつ。
- (2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。
- (3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において個人発表および共同発表の筆頭発表者となることは、合わせて1回を原則とする。
- (4) 共同研究の筆頭発表者は個人会員でなければならない。
- (5) 発表要綱の原稿は、発表内容を論文の形式で記述するものとする。
- (6) 発表プログラム公表後のプログラム(発表タイトル、発表者、発表内容、発表時間)の変更は原則として認めない。どうしても変更せざるを得ない場合には、要綱提出の1週間前までに研究委員長に理由を付して変更を申し出ること。
- (7) 発表申込、要綱作成、発表、発表後の抄録提出は同一言語で行うこととする。その際の言語は、日本語もしくは英語で行うものとする。

2011年度 日本図書館情報学会春季研究集会 研究発表申込書（郵送用）

2011年 月 日提出

発表者の氏名（所属）	
○共同発表の場合には、非会員に*を付けてください。なお、筆頭発表者が実際に登壇者となることが原則です。	
発表題目	
発表要旨 (1) 背景・目的 (2) 方法 (3) 得られた（予想される）成果を、合計800字程度で記述してください。	
備考 (PC, プロジェクタ以外の機材使用希望等)	
●連絡先（共同発表の場合には代表者1名について記入してください） 氏名（ふりがな）： 住所 〒 TEL FAX e-mail（必ず記入してください）：	
※事務局使用欄	受付番号（ ） 受付日 2011年 月 日

提出期限は3月5日（土）です。研究委員長宛にお送りください。電子メールでの提出書式（テキストファイル）は電子メール版会報で配布します。学会サイト<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/>からも入手できます。

各委員会・事務局から

学会賞・学会奨励賞・学会活動貢献賞の報告

第39回(2010年度)の学会奨励賞,ならびに,第4回(2010年度)学会活動貢献賞を決定し,2010年10月10日(日)の臨時総会終了後,授賞式を開催しました。受賞者は以下の通りです。なお,授賞理由は,次号の『日本図書館情報学会誌』に掲載予定です。

・学会奨励賞:長谷川昭子氏

受賞著作:“専門図書館における人材育成:非正規職員を視野に入れた検討”『日本図書館情報学会誌』Vol. 55, No. 2, 2009, pp. 77-103.

・学会活動貢献賞:安形輝氏(亜細亜大学)

受賞理由:電子投票システムの構築をはじめとする積年にわたる学会活動への貢献による。

『日本図書館情報学会誌』投稿先について

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下の通りです。投稿は随時受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」と「執筆要綱」を必ずご参照下さい。

日本図書館情報学会 編集委員会
yyoshida@slis.tsukuba.ac.jp

2010年度の会費納入のお願い

2010年度までの会費未納の方は,すみやかに会費を納入ください。

【ゆうちょ銀行からの振り込み先】

ゆうちょ銀行 口座番号 00160-5-0045759 (口座名義=日本図書館情報学会)

【他金融機関からの振り込み先】

ゆうちょ銀行 019店 口座番号 当座 0045759 (口座名義=日本図書館情報学会)

会員情報の変更について

住所,電話番号,所属先,メールアドレス,会員種別等の変更については,学会ウェブサイトの「会員情報変更申請書」(下記URLからダウンロード可能)にご記入いただき,事務局までメールでお送りください。

会員情報変更申請書について:http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/membership_3.html

会員情報に関する問い合わせ先:jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

退会について

退会については特に書式はございませんので,メールもしくは郵送にて,退会理由を併記の上,学会事務局までご連絡ください。

メールマガジンについて

総務委員会では,メールマガジンを発行しています。本学会,ならびに,他団体等からのお知らせのうち,速

報性が重視されるものや、会報でご案内できないものを主な内容とし、随時発行しています。掲載・講読希望の方は、jslis-info@slis.tsukuba.ac.jpまで電子メールにて、ご連絡ください。

事務局受領資料リスト

- ・安形麻理『デジタル書誌学事始め：グーテンベルク聖書とその周辺』勉誠出版、2010
 - ・新保史生『情報管理と法』勉誠出版、2010
 - ・村上美代治『満鉄図書館史：The Library Activities of the South Manchuria Railway Company, 1907-1945』2010
 - ・情報処理学会 50 年史編集委員会編『情報処理学会 50 年のあゆみ』情報処理学会創立 50 周年記念事業実行委員会 50 年史編纂委員会、2010 年
- ※会員の皆様が図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。